

<i>Topsy-Turvy</i> (日本未公開)		1999 年	執筆：清水 純子
制作国	イギリス		
スタッフ&キャスト (監督、脚本家、俳優、その他)	スタッフ：監督&脚本：マイク・リー/ 製作：サイモン・チャニング・ウィリアムズ / 音楽：アーサー・サリヴァン、W.S. ギルバート、カール・デイヴィス/ キャスト：W. S.ギルバート：ジム・プロウドベント/ アーサー：サリヴァン：アラン・コルドナー/ ルーシー・ギルバー：レズリー・マンヴィル/ ファニー・ロナルズ：エリナー・デヴィッド/		
画像			
カラー・モノクロ	カラー		
時間	160 分		
ストーリー	<p>オペレッタ（喜歌劇）『ミカド』（<i>The Mikado</i> 1885 年 3 月 14 日ロンドン初演）製作にあたる脚本家のウィリアム・S・ギルバートと作曲家アーサー・サリヴァンの伝記をふまえた劇中劇。1884 年、サヴォイ劇場でオペラ製作の名コンビ、作曲家のアーサー・サリヴァンと脚本家の W.S. ギルバートは、新作のアイデアがまとまらず、コンビ解消の危機に瀕していた。ギルバートの妻で女優のルーシーは、評判の日本博覧会に夫を連れて行き、日本を題材に新作を考えたらどうかと提案する。気乗り薄だったギルバートは、購入した日本の刀が書斎の壁から落ちるのを見た時、エキゾチックな遠い国、日本を新作のモチーフにすることを決める。父のミカドが決めた結婚を嫌って身分を隠した若くハンサムな皇子ナンキ・プーをめぐるオペレッタ『ミカド』は大成功を収める。日本の着物の着方や日本女性の立居振舞を日本人に指導してもらった『ミカド』のイギリスの上流階級に対する辛辣な風刺は、日本の異国情緒のオブラートにくるまれて観客の受けもよい。場面カットに反対する俳優たちの要求を受け入れた『ミカド』は、サリヴァンとギルバートのコンビの結束をますます深めた。</p>		
時代設定	ヴィクトリア朝のイギリス（1884 年から 1885 年）		
場所	イギリスのロンドン		
社会背景	大英帝国の経済と社会の繁栄と共に文化も発展した。賑わうロンドンの華やかな舞台、その楽屋裏に潜む悪と貧民の光と影の対比が見られる。著名文化人のモルヒネ愛用、作曲家と女優の愛人関係とそれに伴う墮胎、売春宿の繁栄など輝かしい英国の恥部がほのめかされる。		

文化的背景	ヴィクトリア朝ロンドンのナイトブリッジで日本博覧会が話題を呼び、イギリスでは空前の日本ブームが起きた。当時の人気作曲家と作詞家はこのジャポニズムあるいはオリエンタリズムに便乗して、オペレッタ『ミカド』を作り、新境地を開く。19世紀後半のロンドンの舞台裏の生活と運営が描かれる。
使用言語	英語（ロンドン中心のイギリス英語）
テーマ	劇作家と作曲家の創作上の葛藤から起こるいさかいと和解、役者を含む舞台にかかわる人々の衝突がより優れた芸術を生み出すアートの不思議な力。
みどころ	イギリス人が着物を着て、日本語でオペラを歌う場面、コルセットをつけるのが普通であったイギリス人が着物という異文化に戸惑う場面、日本女性のしぐさをイギリス女性がまねて表現する場面、19世紀ロンドンでオペラを上演するまでの舞台裏、美しい歌声と和風の衣装。
印象深いせりふ	The effect of this magic potion is to transform the character who takes it into whatever he or she is pretending to be. You and your world of Topsy-Turvydom! In it was a magic coin. And before that, it was a magic lozenge. And in it was an elixir. In this instance, it is a magic potion. Well, you should have a young and beautiful heroine who grows old and plain. As she gradually becomes older and older the ladies' chorus becomes younger and younger. Ah. Topsy-Turvy.
授業教材用 メリット	日本文化を欧米の人々がどのように見て表現するかが興味深い、日本を外側から客観的に他者の目で観察できる、外国人にとっての異文化日本を知る通常の視点の逆転のおもしろさ。
授業教材用 デメリット	日本では映画は未公開、DVD,VHSのいずれも未発売、輸入盤を使用するためにはリージョン・フリーのプレイヤーが必要。 字幕は英語のみなので、英語を読むスピードがある程度必要。 日本が荒唐無稽に描かれている部分があるため、気を悪くする学生がいるかもしれない。
映像入手元	パテ（Pathe）
原作の有無	無
支持反応	metacritic 評価（批評家 90、観客 7.9） Rotten Tomatoes 評価（批評家 89、観客 79）
キーワード	異文化、東洋趣味、日本、刀、劇中劇、オペレッタ、ミカド、エキゾチック、ヴィクトリア朝、イギリス、サリヴァン、ギルバート。

Copyright © Junko Shimizu All Rights Reserved.

★本サイトに掲載される情報の著作権は、清水純子に帰属します。

許可なく複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、販売、出版等を禁止します。